

令和2年度 第1回淡路市国民健康保険運営協議会要約議事録

- 1 日 時 令和2年8月27日（木）15：00～16：00
- 2 場 所 淡路市役所 1号館2階 大会議室1
- 3 出席者 中山委員、東根（吉）委員、東根（正）委員、中田委員、平井委員、奥井委員、大倉委員、辻本委員、栗山委員、小柳委員、藪内委員、平松委員（15名中12名出席）
- 4 議 事
 - （1）協議事項
 - ①令和元年度淡路市国民健康保険特別会計の決算状況について
→事務局より説明
 - ②保健事業について
→事務局より説明
 - （2）報告事項
コロナウイルス感染症に関する条例等の制定について
→事務局より説明

- 5 質 疑 以下のとおり

（1）協議事項

- ①令和元年度淡路市国民健康保険特別会計の決算状況について

（委員） 不納欠損の対象となった人の内訳として、保険料の軽減対象となっている人と一般の人でどちらが多いのか。

（事務局） 収入財産が無く、納付資力の無い方が不納欠損理由の約半数を占めますので、恐らく軽減対象となっている方が多いと思われます。

（委員） 納付金と国保税の差額は基金から繰り出しているのか。

（事務局） 一般会計からの繰入金と国保税で概ね納付金を賄っている状況です。

（委員） 今年度は財政調整基金をどの程度取り崩すことになりそうか。

(事務局) 5,000万円程度を繰り入れる予定です。基金残高の目安は保険給付費の5%程度とされており、本市では2億円程度となります。これと比べ、基金残高が多いことから、毎年5,000万円取り崩す前提で保険料を決めております。今年度は繰越金が減少しているものの、納付金の金額が減少する見込みであることから、5,000万円程度で収まると想定しています。

(委員) 南あわじ市では、新型コロナウイルス感染症対策として、一般会計から2億円を繰り入れし、税率を据え置きする補正予算を計上したと報道があったが、淡路市も今年度に税率を検討していくのか。

(事務局) 3年に一度のタイミングが今年度であり、次回の国保運営協議会にて協議していただきたい。

(委員) 島内の3市の徴収率の状況はどのようになっているのか。

(事務局) 平成30年度のデータになるが、現年分で淡路市で94.25%、洲本市で94.66%、南あわじ市で94.32%となっており、県内の順位では洲本市が、17位、淡路市が26位、南あわじ市が25位となっております。今年度は、多少順位も上がると思っております。

②保健事業について

(委員) 兵庫県立大学との共同研究は淡路市だけか。他市もやっているのか。

(事務局) 淡路市と姫路市が行っております。

(委員) いつからやっているのか。

(事務局) 昨年から実施しており、3年程度続けていく予定です。

(委員) 結果が出た場合にはお知らせいただけるのか。

(事務局) 広報などで公表予定です。

(2) 報告事項

新型コロナウイルス感染症に関する条例等の制定について

以 上